



発行にあたって

日頃から、賛助会員様はじめ、室蘭市・登別市・伊達市、室蘭工業大学、各金融機関の皆様には、室蘭テクノセンターの運営に対しまして、格別なるご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターは今から30年前、構造不況により室蘭地域の産業経済がとても苦しい時代に、地域中小企業の技術開発力向上や経営体質強化に向けた支援に積極的に取り組み、地域経済の振興発展に寄与することを目的として、地域企業の皆さま、地域金融機関や自治体の皆さまからの出捐により設立されました。

設立以来、産業構造の変化や地域経済の浮沈、人口減少など様々な外部環境の変化に晒されながら、地域企業の皆さまと一体となり30周年を迎えることができたことに、改めて御礼申し上げます。

最近の室蘭地域経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速や急激な為替変動など、変化が多く先行きが不透明なグローバル経済の影響を受けながら、一方では、労働力人口の減少による人材不足が喫緊の重要課題とされる、新たな局面を迎えております。

これからの時代は、これまでの30年間に誰もが経験したことのない、労働力人口減少の時代に急速に突入していきます。もしかすると、室蘭地域経済にとっては30年前の構造不況時よりも厳しい時代となるかもしれません。このような時代にこそ、挑戦者としての地域中小企業を支える私たち中核支援機関が必要とされているものと自任し、その役割を十分に発揮できるよう、努めてまいります。

この「テクノだより」2016年号（第7号）は、昨年度に当センターが取り組んだ各事業や、今年度に実施している各事業を取りまとめたものです。近年は、新たな時代に向けた次の産業、次の市場へチャレンジする事業と、そのための足場固めをするための事業を複層的に実施しています。当センターの事業内容をご理解いただき、皆さまの次なる挑戦へのお手伝いに繋がれば幸いです。

今後とも、特段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成28年10月吉日

公益財団法人室蘭テクノセンター

理事長 栗 林 和 徳

室蘭テクノセンターの各種事業支援

技術・製品開発等支援事業

《ものづくり創出支援事業》

ものづくり創出支援事業は、室蘭地域（室蘭市、登別市、伊達市）に蓄積された技術・人材などの産業資源を活用し、起業から新分野への展開、技術研修まで幅広く対応し、一体化した支援を行うことにより、新製品・新技術の開発、新事業の創出などを促進するための助成制度です。

これまでの「ものづくり創出支援事業」制度利用実績一覧

(件数)

事業名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
開発の芽育成支援事業	11	5	5	8	6	7	6	7
製品・技術事業化支援事業	0	2	4	2	4	1	3	1
商品化推進支援事業	1	1	5	3	3	6	10	10
市場開拓支援事業	4	6	3	2	5	9	1	13
ものづくり創業支援事業	3	2	0	0	2	2	2	1
ものづくり技術・技能習得研修支援事業	2	0	0	0	0	0	0	0
ものづくり資格取得支援事業	2	0	1	0	0	0	1	2
検査測定支援事業	—	—	—	—	1	0	1	3
計	23	16	18	15	21	25	24	37

新たな製品・技術の開発を行いたい！

室蘭工業大学との共同研究は42万円以内の加算ができます

1. 開発の芽育成支援事業

事業化等の可能性がある製品・技術の新規開発または大幅な改善を支援する事業

80万円
10/10 以内

2. 製品・技術事業化支援事業

市場投入の実現性が高い製品・技術の新規開発または大幅な改善を支援する事業

200万円
2/3 以内

新たなチャレンジ

視空間認知機能回復支援システム
「(仮称) ステップアイ」の開発



認知症初期段階において症状が現れる視空間認知機能低下への対策として、軽度な運動を組み合わせた、視空間認知機能回復支援システムを開発。
(平成28年度も継続開発中)

製品・技術事業化

抗菌性透明ダブルウォール弁当箱の開発



蓋に保冷剤を内蔵し、透明樹脂を使用した容器を2重(ダブルウォール)にして内容物の保冷効果を高めた、安全で、きれいに詰めたサラダ等が外観から見える、サラダ容器に適した弁当箱を開発。

3. 商品化推進支援事業 市場調査、デザイン開発、食に関する新製品を開発したい！



伊達大滝アロニアクッキー



うずら肉の燻製

パッケージデザイン例



ビノスめしの素

100万円
3/4 以内

市場調査
デザイン開発等

30万円
3/4 以内

食品に
関する開発

4. 市場開拓支援事業 製品・技術をPRし、販路を開拓したい！



展示会を活用し販路を開拓

50万円
1/2 以内



自社の製品・技術の
ホームページ、パンフレットの作成

30万円
1/2 以内

5. ものづくり創業支援事業

ものづくりに関する新たな
事業を始めたい

ものづくりに関する事業展開のための事務所経費を助成
創業間もない（2年以内）の
中小企業が対象

5万円
1/2 以内

6. ものづくり技術・技能習得研修支援事業

技術講習会に参加したい、
専門家を招聘したい

実技等を伴う技術・技能・
デザイン開発などの習得のため
の先進企業や試験研究機関
への技術者派遣または専門技
術者招聘

40万円
1/2 以内

7. ものづくり資格取得支援事業

技能士等の資格を取得したい

対象資格：技能士、技術士、
公害防止管理者、エネルギー管
理士、溶接技能者、危険物取扱
者、ボイラー技士、ボイラー溶
接士、ボイラー整備士等

10万円
1/2 以内

8. 検査測定支援事業

試験研究機関に試験を依頼したい、
機器を使用したい

新商品・新製品等に係る性
能検査のために実施する、公
設試験研究機関の検査等

5万円
1/2 以内

■対象となる事業者

室蘭地域の中小企業者及び任意の団体等

■事業メニュー

上記の通り開発段階に応じた8つのメニューがあります。それぞれ事業内容、補助限度額、補助率等が異なります。詳しくはお問い合わせください。

産学官連携支援事業

1. 地域のもづくり産業力強化対策事業

本事業は北海道および室蘭市の補助事業として、室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）の中小企業が抱える課題をヒアリングし、その課題解決に向けたシーズの提案・研究開発テーマの創出、そして実際の課題解決までの一貫した支援により新規事業化を実現させること、また、地域中小企業が開発した製品・技術・サービスをPRする展示会への出展や、受注・取引拡大を図るための商談会への参加を促すとともに、地域中小企業全体の競争力強化に向けたコンサルティングエンジニアとの新たなネットワークを形成し新規市場開拓を側面から支援することを目的とした、3ヶ年計画の事業です。

平成27年度は本事業の3年目として、以下の活動を行いました。

（1）ビジネスコーディネート強化事業

技術コーディネーターを配置し、次のテーマの調査・研究を行いました。

- ①燃料電池自動車の普及に向けた水素関連設備・機器等の配管接合・最適材質などに関する調査および水素ステーション等の部品やアッセンブリーなどへの地元企業参入の可能性について検討しました。また、先進企業との連携などについても検討を行いました。

（2）技術高度化・事業化促進事業

前年度までに調査・研究を行った、次の3つのテーマの事業化に向けた取り組みを行いました。

- ①高精度加工技術および高精度測定技術を用い、自動車などの金型や部品等に使用される超硬材やセラミックなどの硬脆材の低コスト加工技術の高度化等を行いました。また、ニアネットシェイプ成形による切削体積の削減および切削時間の短縮に向けた高精度測定による加工方法等の検討を行いました。
- ②プラスチックやセラミック等へ抗菌性や防汚性、消臭性といった機能性を付与するための表面処理技術の開発を行い、紫外線による表面改質や抗菌剤の分散性について検討を行いました。また、サンプルを製作し抗菌性試験も行いました。
- ③木質ペレットストーブの事業化開発として燃焼技術や周辺技術の効率面・利便性等の高度化を図りました。また、ストーブのFF化および温風の下方向吹き出しによる暖房効率と触媒による燃焼性の向上について検討を行いました。



アルミナ切削加工例



ジルコニア切削加工例



無菌抗菌剤コーティング
サンプル

2. 新分野展開推進事業

(1) フロンティア技術検討会の開催

室蘭工業大学との共催により、「水素社会と技術革新」をテーマに講演会を開催しました。

○開催日 平成27年10月29日（木）

○開催場所 中嶋神社「蓬峯殿」

○参加者 118名

○主催 室蘭地域産学官連携事業実行委員会（構成：公益財団法人室蘭テクノセンター、室蘭工業大学 CRD センター・同研究協力会、産学交流プラザ「創造」）

○講演内容

演題1：〔製造〕「国内の水素市場と北海道における水素動向」

講師：エア・ウォーター株式会社 産業カンパニー 産業ガス関連事業部
エアガス部（札幌）担当部長 高橋 宏史 氏

演題2：〔貯蔵〕「材料における水素利活用と水素貯蔵技術－金属工学の視点から－」

講師：室蘭工業大学 環境調和材料工学研究センター
教授 亀川 厚則 氏

演題3：〔輸送〕「水素社会と技術革新－水素パイプライン輸送の課題と展望－」

講師：日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社
フロンティアマーケット部 ゼネラルマネジャー
牧野 弘二 氏

演題4：〔利用〕「スマートコミュニティを支えるエネルギーマネジメント」

講師：清水建設株式会社 技術研究所 エネルギー技術センター
主任研究員 工学博士 森野 仁夫 氏（室蘭工業大学OB）

《講演会の様子》



(2) 産学官連携支援室

室蘭工業大学と企業との産学連携の促進と外部資金獲得のための大学シーズピックアップとコーディネートを行いました。

①開発の芽育成支援事業等に係る大学との共同研究 4件

(3) 産学交流事業

産学交流プラザ「創造」会員相互の企業情報交換や室蘭工業大学の教員との交流を行い、人的ネットワークの形成と新たな共同研究テーマ発掘のため、同プラザの運営支援を行いました。

産学交流プラザ「創造」について

本会は、地域の産業界、大学、行政機関等が連携する幅広い交流活動により、最新の情報を得て、経営資源として活用するとともに、ものづくり力を高め、また会員同士一致協力のもと環境に配慮しつつ研究開発及び、その成果の事業化を目指すことによって室蘭の産業振興に資することを目的としています。

【事業内容】

1. 会員相互の意見交換・情報交換、交流
2. 大学からのシーズ提供、教員との交流
3. セミナーの開催
4. テーマ別調査、研究開発プロジェクト、事業化プロジェクトの推進
5. その他目的に合致する事業

■平成27年度の「創造」の活動状況

- | | |
|----------|---|
| 4/21 | 企業見学・事業紹介 29名参加 (株)今野鉄工所の見学・事業紹介 |
| 5/20 | 総会・交流会 35名参加 |
| 6/22 | 意見交換会 32名参加 テーマ「小水力発電プロジェクトについて」 |
| 7/23 | 北洋銀行ものづくりテクノフェア見学会 16名参加 |
| 8/25 | 企業・事業紹介 26名参加 (株)スガテックの企業・事業紹介 |
| 9/29 | 栽培水産試験場・Mランド見学会 19名参加 |
| 10/21~22 | 他地域企業視察会(札幌・石狩方面) 11名参加 (株)池田歯車製作所 他 |
| 11/ 9 | 講演会 42名参加
テーマ「航空機関連部品製造分野への参入を目指して」
元 産業技術総合研究所北海道センター長 吉田 忠 氏 |
| 1/26 | 新年交流会 42名参加 講演「北海道プロフェッショナル人材センターについて」
北海道プロフェッショナル人材センター
プロフェッショナル人材 戦略マネージャー 堀 敦志 氏 |
| 2/15 | 講演会 33名参加 室蘭工業大学CRDセンター長 清水 一道 氏
「泊発電所の再稼働に向けた取組について」
北海道電力(株)室蘭支店副支店長 野土 英樹 氏 |
| 3/15 | 概要説明・意見交換会 26名参加
「北海道立室蘭高等技術専門学院 2年制移行について」
北海道室蘭高等技術学院 庶務課長 鈴木 将夫 氏 |

《他地域企業視察会の様子》



(4) 地域イノベーション人材育成事業

ものづくり企業活性化チーム“学・官・金 室蘭”※による「胆振次世代革新塾」（塾長：西野義人（株）西野製作所 代表取締役）運営を通じ、法政大学の協力のもと「『組織』の根本的な問題を『自ら』解決する力を鍛える!!」をテーマに地域イノベーション人材の育成を図りました。

- 講 義 回 数 8回
- 受 講 生 数 23名



講義の様子▶



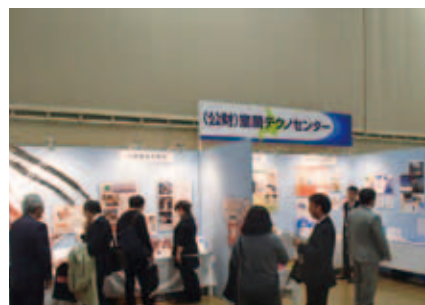
※ものづくり企業活性化チーム“学・官・金 室蘭”

室蘭工業大学地域共同研究開発（CRD）センター、室蘭市経済部産業振興課、公益財団法人室蘭テクノセンター、室蘭信用金庫の4機関実務者で構成

(5) ビジネスE X P Oへの出展支援

第29回ビジネスE X P O（北海道技術・ビジネス交流会）に参加し、地域企業の技術や製品等のP R活動を支援しました。

- 開 催 日 平成27年11月5日（木）、6日（金）
- 開 催 場 所 アクセスサッポロ（札幌市白石区）
- 出 展 企 業 5社 （株）三好製作所室蘭工場
佐々木機工（株）
（株）アイスジャパン
創作工房せきね
内藤食品工業（株）



会場の様子▶



会場の様子▲

3. 国内外販路開拓支援事業

(1) 新価値創造展への出展支援

地域のものづくり中小企業が最も課題とする国内外への販路開拓に向け、室蘭市からの委託事業によりビジネスマッチング色の強い「新価値創造展 2015」に出展し、室蘭市内企業の技術や製品等のP Rを支援しました。

- 開 催 日 平成27年11月18日（水）～20日（金）
- 開 催 場 所 東京ビッグサイト
- 出 展 企 業 7社 （株）アイスジャパン、（有）アルフ、
（株）キメラ、サンパックス（株）、
（株）西野製作所、（株）日本システムデザイン、
（株）三好製作所室蘭工場

- 商 談 件 数 22件（うち1件成約）
※展示会出展2週間後時点の実績

中小企業支援事業

1. 市場開拓支援事業

(1) 道内外新規受注開拓支援

(公財)北海道中小企業総合支援センターと連携し、首都圏在住の広域専門調査員等の情報を活用するとともに、当地域企業の紹介のための企業訪問を行ったほか、当財団ホームページに「地域企業紹介」のページを新設するなど、新たな取引先の開拓を支援しました。

- ・ 訪問企業数 1社 (埼玉県)
- ・ 地域企業紹介ページ掲載企業数 156社

(2) 受発注情報活用支援

首都圏などの受発注情報の提供や商談取引の増加を促進するため、(公財)北海道中小企業総合支援センターが主催する「ほっかいどう受発注拡大商談会」など公的商談会に係る情報提供等を行い、当地域企業の参加を支援しました。

2. 中小企業力向上支援事業

(1) 技術・経営、特許相談

地域中小企業からの技術・経営、特許、製造現場改善など多様な相談に対し、コーディネーターグループの専門家らにより各種支援制度の紹介および申請書作成支援を行ったほか、相談内容によっては大学・研究機関等への仲介を行いました。

総 数	技 術	受発注	経 営	その他 (ものづくり以外の 相談案件等)
471件 (うち、大学・研究機関等へ の仲介を行った件数 16件)	208件	69件	2件	192件

○商標・特許等についてのご相談がございましたら

「北海道知的財産情報センター・室蘭サテライト」までお問い合わせください。

【問合せ先】(公財)室蘭テクノセンター TEL: 0143-45-1188

(2) 地域企業訪問ヒアリング

企業経営者・管理者との面談により、企業ニーズの収集を行ったほか、技術開発、製品開発に向けた意向調査を行いました。

- ・ 訪問企業数 99社

■主な内容■

- ・ 研究開発補助金・助成金の活用に向けたコーディネート及びアドバイス
- ・ 共同研究、技術指導に関する産・学・官への仲介
- ・ 市場開拓に対する支援、情報提供
- ・ 各種講演会・講習会の開催、情報提供
- ・ 人材の育成・教育への支援、情報提供

(3) 省エネ診断

経済産業省の平成26年度補正「省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業」の採択を受け、支援対象者（中小企業等）に省エネに係る専門家を複数回派遣して省エネ診断を実施し、エネルギー使用量の「見える化」推進、抽出した課題の解決策を省エネ案件として提案。さらに、実行に向けたPDCAの各段階で、きめ細やかに支援する体制を構築しました。

- ・省エネ対策支援企業数 8社
- ・課題解決提案案件数 78件

課題解決案を全件実施した場合の効果予測	
コスト削減期待効果額	29 百万円／年（削減率 6.9%）
エネルギー削減額（原油換算）	350kl／年（省エネ率 6.5%）
CO ₂ 排出削減量	895トン／年（削減率 6.6%）

(4) 室蘭地域産業支援連携協定に基づく中小企業支援

本財団と地域5金融機関※および室蘭工業大学で締結した、おのおのが連携し地域産業を支援する旨の協定に基づき「ものづくり企業活性化チーム“学・官・金 室蘭”」をはじめ様々な協力体制のもと、経済産業省の平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」採択に向けた申請書作成支援などを実施し、地域中小企業の技術・経営課題の解決を図りました。

※地域5金融機関 室蘭信用金庫・伊達信用金庫・北洋銀行室蘭中央支店
北海道銀行室蘭支店・日本政策金融公庫

- ・平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」
ものづくり企業活性化チーム“学・官・金 室蘭”による
申請書作成支援件数 10件、うち採択件数 8件
(当財団の担当件数は 2件、うち採択件数 2件)

受託事業

《室蘭職業訓練協会受託事業》

職業訓練法人室蘭職業訓練協会の受託事業として同協会の運営業務を担い、認定職業訓練の基準を満たさない訓練の実施などにも対応が可能な「職業訓練促進助成金」を創設するなど、同協会に加盟する左官・塗装・板金・大工・電気各事業組合に所属する会員の技術・技能の向上・習得等を支援しました。

平成28年度事業概要

1. 技術・製品開発等支援事業

1-1. ものづくり創出支援事業

1-2. 戦略的基盤技術高度化支援事業 **new!!**

経済産業省の補助事業である「戦略的基盤技術高度化支援事業」を実施します。

プロジェクト名：「耐水素脆性金属材料による水素ステーションのディスペンサー用フレキシブルホースの開発」

事業管理機関：公益財団法人室蘭テクノセンター

研究等実施機関：トーフレ株式会社、国立大学法人室蘭工業大学

概要：燃料電池自動車（FCV）に水素を充填するディスペンサー用フレキシブルホースは、充填圧力の高圧化（国際基準 87.5MPa）及び長寿命化が市場から求められていることから、耐水素脆性に優れる金属材料からフレキシブルチューブを成形する技術を開発します。

2. 産学官連携支援事業

2-1. 新分野展開推進事業

（うち産学交流事業「宮古地域企業との交流」～地方創生加速化交付金事業～） **new!!**

岩手県宮古市とのフェリー航路開設を見据え、産学交流プラザ「創造」と宮古地域の異業種交流団体との相互交流を実施し、事業拡大・販路拡大に向けた取り組みを支援します。

2-2. 国内外販路開拓支援等事業

～地方創生加速化交付金事業～ **new!!**

2-3. 水素関連産業参入プラットフォーム構築事業

～地方創生加速化交付金事業～ **new!!**

地域のものづくり企業と水素関連先進企業を繋ぐ官民協働のプラットフォームを構築し、水素関連市場への参入を目指した取り組みを支援します。

2-4. 地域技術・製品啓発支援事業

（うち 宮古市産業まつりへの出展 ～地方創生加速化交付金事業～） **new!!**

2-5. 参入促進支援事業 **new!!**

3. 中小企業支援事業

3-1. 市場開拓支援事業

3-2. 中小企業力向上支援事業

（うち「室蘭地域中小企業等の省エネルギー相談プラットフォーム事業」）

昨年度に引き続き、経済産業省の平成 27 年補正「省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業」の採択を受け、地域中小企業の経営コストの削減に向けた省エネ支援を行います。

（うち「製造現場の改善による成長力強化事業」～地方創生加速化交付金事業～） **new!!**

（一社）ものづくり改善ネットワークの支援協力により「ものづくり改善インストラクター」の派遣を受け、室蘭・登別両市内企業の現場における良い流れづくりを実践し、生産性向上による国内外企業との競争力強化、持続可能な成長力の強化に取り組みます。

室蘭テクノセンターは、今年で設立30周年を迎えます！

これからも当センターは地域に密着した「ものづくり産業支援機関」としての役割を果たすべく邁進いたします。引き続き皆さまのご指導とご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 室蘭テクノセンター ～年表（沿革）～

1982年(昭和57年)	12月	室蘭地域における産業の振興活性化策について協議検討を行うため、地域産業界・室蘭工業大学・行政の有識者で構成する室蘭地域産業振興懇話会が発足。
1984年(昭和59年)	11月	上記懇話会において、室蘭テクノセンターに関する提言がまとめられる。
1985年(昭和60年)	5月	中小企業庁所管の新地場産業集積圏構想のモデル地域として室蘭地域(室蘭市、登別市、伊達市)が指定を受ける。
1985年(昭和60年)	6月	室蘭テクノセンター設立に向け、推進協議会が設置される。
〃	12月	室蘭地域産業振興懇話会に対し、推進協議会の審議結果を報告。
1986年(昭和61年)	3月	北海道、室蘭市、登別市、伊達市が室蘭テクノセンターへの出捐金を昭和61年度予算に計上。
〃	3月	新地場産業集積圏構想マスタープランがまとめられ、その中核事業として室蘭テクノセンターが位置づけられる。
〃	5月	財団法人室蘭テクノセンター設立発起人会が開催され、設立準備の具体的推進について了承される。
〃	5月	地域の関係企業へ、財団の基本財産形成のため出捐を要請(5月～9月)。
〃	10月	財団法人室蘭テクノセンター設立総会を開催。
〃	12月	道から財団法人の設立認可(12月1日付)を受け、法人登記を完了(12月3日)。室蘭市中小企業センターに事務所を置き事業を開始。
1987年(昭和62年)	8月	加速的技術開発支援事業を受託。
1988年(昭和63年)	4月	中小企業団体能力開発推進事業の指定団体となる。
1989年(平成元年)	10月	中小企業事業団の地域産業創造基盤整備事業の対象団体となる。
1990年(平成2年)	1月	新施設の建設工事に着手。
〃	10月	新施設竣工(総事業費は約5億円で、地域産業創造基盤整備事業から3.2億円、国と道から各5千万円などを受け10月1日に竣工)
1991年(平成3年)	6月	運営基金(10億円)の創設(中小企業事業団の地域産業育成支援事業)。
1993年(平成5年)	4月	特定中小企業集積活性化に関する臨時措置法に基づく支援機関として認定される。
1997年(平成9年)	4月	北海道から地域産業支援センターの指定を受ける。
1998年(平成10年)	6月	特定産業集積の活性化に関する臨時措置法に基づく支援機関として認定される。

室蘭テクノセンタースタッフの紹介

室蘭テクノセンターには、技術や経営、特許、製造現場改善など多様な相談に応える専門のスタッフがいます。私たちスタッフが室蘭地域の中小企業が抱える様々な課題解決のお手伝いをします！

コーディネーター室



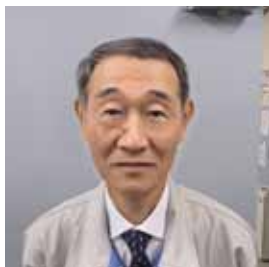
おがさわら ●小笠原統括コーディネーター

昨年は各コーディネーターと協力し、ものづくり企業向けの補助金の計画書作成支援や実験研究支援などを行ってきました。引き続き、超硬材・セラミック・CFRPなどの難削材に対する高精度な加工技術や金属および非金属等の素材への高機能化・高付加価値化などについて、技術支援や人材育成等に取り組んでいきたいと思っています。



ごとう ●後藤ビジネスコーディネーター

2015年5月からビジネスコーディネーターとして、西胆振地区の企業の皆さんを巡回しています。私は、鉄鋼業の製品設計、品質保証、非破壊検査、品質管理及び装置類の整備等の業務に長年携わって来ました。また、ドイツにも5年間滞在し、セールスエンジニアとして欧州各国の企業を巡った経験もあります。室蘭地域には国内はもとより、全世界にも誇ることができる製品や技術がありますが、当センターに来てさらにその思いを強くしております。長年住んだこの地域に恩返しをさせていただく意味でも、地元企業の皆様の躍進に少しでもお役に立てれば幸いです。よろしくお願いいたします。



ふくとみ ●福富技術コーディネーター

昨年は、引き続き地域のものづくり産業力強化対策事業の「木質ペレットストーブの開発」の実験研究支援を行い、FF式ストーブの燃焼の安定性向上、温風の効果的送風方式の検証等に取り組む効果を確認することが出来ました。また、各コーディネーター・関係機関と協力し、ものづくり創出支援事業、その他の中小企業向け補助金の計画作成支援および企業の改善取組（ものづくり改善インストラクター事業）への参画等、域内の中小企業活性化に向けた取組を行いました。新たな取り組みとして「室蘭地域中小企業等の省エネ相談プラットフォーム事業」において、企業の省エネ活動の支援を行いました。本年度も補助事業者として採択を受けましたので、引き続き地域の中小企業等の省エネ活動の支援に取り組んでいきます。



いしい ●石井技術コーディネーター

昨年は、地域のものづくり産業力強化事業の最終年度として「燃料電池車の普及に向けた水素関連技術等の調査研究」をテーマ建てし、水素ステーション関連技術を主体に調査を行いました。国のロードマップに従い、四大都市圏を中心に水素ステーションの整備が進む中であって、室蘭市では2016年3月に道内初の移動式水素ステーションの開設と燃料電池車（FCV）を導入しました。本年は、この移動式水素ステーションの整備を地域中小企業のビジネスチャンスと捉え、水素事業で先行する企業と連携して水素社会の構築に向けた取り組みを展開していきたいと思っています。

コーディネーター室


よしもと
 ●吉本地域支援マネージャー

2016年7月から地域支援マネージャーとして就任しました。以前は大型鋳鋼品製造に関しての技術・品質等の改善、及び製造・安全等々の管理業務に長年携わってきました。

今後、参入促進支援事業としての室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）の自動車関連及び食品加工機械関連の「基盤技術の高度化、製品化研究、製品改良」及び「生産工程・設備保全技術・効率化等の技術向上」に向けての技術的な課題の把握、解決に向けた支援を担当します。室蘭地域企業を訪問させていただき、皆様の少しでもお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

企業支援課


ほりい
 ●堀井主任

2016年7月から、当財団職員として勤務させていただいております。室蘭地域の企業の皆さまの困り事の相談・補助金の斡旋等を通じて、お役に立てるように積極的に活動していきます。「ものづくり創出支援事業」の主担当として、室蘭地域の企業の皆さまに対して、研究開発・製品技術事業化・市場開拓等のご支援を行っておりますので、お気軽にご相談ください。どうぞ宜しくお願い致します。

技術課題や製品開発など、企業の皆様が抱えるさまざまな相談に対し、スタッフが親切・丁寧に応じ、課題解決をお手伝いいたします！お困りの件がございましたら、まずは室蘭テクノセンターまでご相談ください！

「室蘭テクノセンターに相談して良かった！」～利用者の声～

過去に当センターの支援制度を活用した企業の方からお声をいただきました。



■株式会社三好製作所 室蘭工場 様

（H27年 ものづくり創出支援事業を活用）

抗菌性ダブルウォール弁当箱の開発に際し、ものづくり創出支援事業（製品・技術事業化支援事業）を活用しました。開発にあたり室蘭テクノセンターのコーディネーターに抗菌材メーカーを紹介してもらい、打ち合わせにも同行していただくことで、その後の製品開発をスムーズに進めることができました。



■株式会社登別伊達時代村 様

（H27年～H28年省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業を活用）

全社的に省エネ活動に取り組んでいたころ、室蘭テクノセンターのコーディネーターから本事業をご紹介いただき活用しました。省エネ専門家から、きめ細かいアドバイスをいただき、省エネ対策に取り組むことで、従業員の意識も高まりました。省エネで削減できたコストは直接の利益になることを実感しています。

室蘭テクノセンターからのご案内

賛助会員を募集しています！

当財団では、多くの方々のご賛同、ご支援をいただきながら、室蘭地域における中小企業振興を目的とした各種事業を展開していくため、企業・機関・団体の皆様に賛助会員の募集を行っております。

賛助会員に加入いただきますと、各種支援制度の情報提供や申請書作成支援などのサービスをよりご活用いただけます。

入会ご希望の方は、賛助会員加入申込書を送付いたしますので、お問い合わせください。

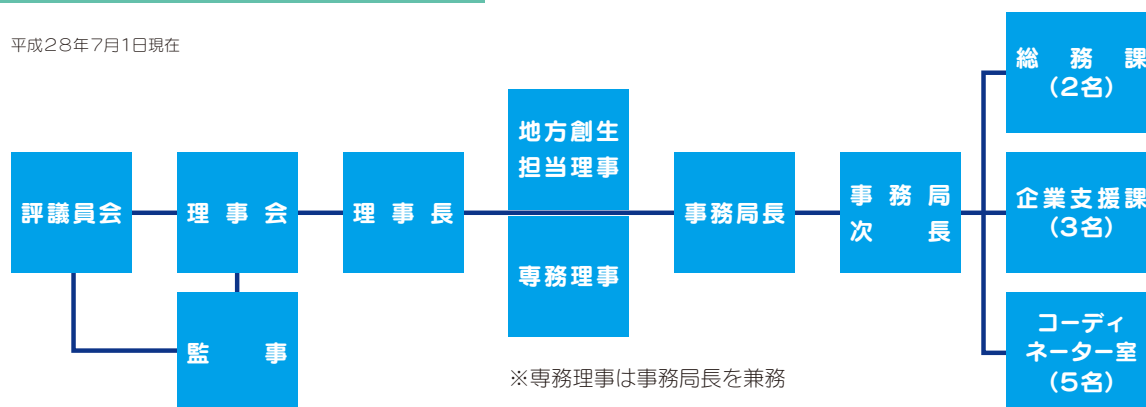
当財団の趣旨に賛同し、ぜひ賛助会員として加入いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

会費：年会費 〈1口〉2万円

【お問い合わせ先】(公財)室蘭テクノセンター TEL:0143-45-1188 FAX:0143-45-6636

当財団の組織体制をお知らせします

平成28年7月1日現在



～中小企業者等や創業者のための経営相談窓口～

北海道中小企業総合支援センター 北海道よろず支援拠点 日胆支部

公益財団法人北海道中小企業総合支援センターは、各支援機関との連携を図り、国や北海道の中小企業施策の実施を通じて、中小企業者等が抱える様々な経営課題の解決に向けた支援を行います。

また、室蘭テクノセンター内に日胆支部を設置しており、支部に設けた「よろず支援地域拠点」と一体となって胆振・日高地域におけるきめ細やかな支援を行います。

創業や経営、事業承継、新製品開発やマーケティング、設備導入、農林漁業者の6次産業化、売上拡大や経営改善等に関する相談など、無料で対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 TEL:0143-47-6410

北海道中小企業総合支援センター 日胆支部次長 浜田 敏
北海道よろず支援拠点 日胆支部担当コーディネーター 森永 勉
(〒050-0083 室蘭市東町4丁目28-1 室蘭テクノセンター内)

北海道よろず支援拠点の相談日は、毎週火曜日9:00～17:30(祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く)のほか、必要に応じてご相談を承ります。